**男女共同参画・女性の活躍促進に関するアンケート調査結果**

【参考】

**・調査期間・・・令和元年７月１８日（木）～８月２日（金）**

**・対象者・・・５００名（町内企業等含む）**

**・回答者・・・１７４名**

**・回答率・・・３４.８％**

**１．アンケート結果の概要**

**○男女共同参画について ≪問２～問６≫**

　この章では、男女共同参画や男女平等、男女それぞれの生き方について、どのように考えているかを調査しました。

・「夫（男）は仕事、妻（女）は家庭」という考え方について、「（どちらかといえば）同感できない」という意見が７割を越え、核家族化や夫婦共働き世帯が増えている現代社会に見合った結果であった。

　・『家庭生活』『職場』『学校教育』『地域活動』『慣習・しきたり』『政治』『法制度』『社会全体』の８項目における男女平等について、「平等になっている」という意見が最も多かったのは『学校教育』で約６割を占めた。しかし、他の７項目では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」という意見がそれぞれ最も多く、「男性の方が優遇されている」という意見と合わせると７項目全てで５割を越えた。全体を通して、男性を優位とする社会通念や慣習がまだまだ残っており、今後はそれらを根本的に改めることが望まれる。

・男女の生き方については、「家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる」という意見が共に５割を越え、男女での大きな差はなく、性別に関係なく、公私共に充実した生き方を理想としていることが分かった。

・男女平等を実行していくには「労働時間や休暇・休業体制といった労働環境の改善」を望む意見が多く見られ、次いで「社会通念や慣習を改める」「男女共に家事ができるような子育てをする」という意見が多い結果となった。

**○女性の活躍促進について ≪問７≫**

　この章では、身近にいる女性の活躍について調査をしました。

・約７割の方が「（どちらかといえば）活躍している」と答えた。理由としては、「管理職ではないが活躍する女性が増えている」という意見が多く、様々な場面で女性が活躍していると感じることが多くなっているようだ。

・「（どちらかといえば）活躍していない」と感じる方も約３割おり、男性優位の考え方や、女性を取り巻く環境（出産・育児など）の改善を訴える意見が聞かれた。

**○就労・職業について ≪問８～１１≫**

　この章では、就労と生活に関することや、働く女性、男性による育児休暇の取得について調査しました。

・「仕事」「家庭生活」「地域や個人の生活」をそれぞれ両立した生活を希望している方が全体の約５割を占めたが、実際の生活では全体の約４割の方が「仕事」を優先してしまっていると答えた。

・女性が職業を持つことについて、８割の方が肯定的な意見であり、子どもができても仕事をやめずに続けるべきという意見が６割強という結果であった。また、女性が働き続けたり再就職したりするために必要なことは、「家族や配偶者」による家事・子育て・介護への参加や協力、仕事に対する理解・同意という回答が約３割となっており、家族からの協力や理解が大きく関係していることが分かった。

・男性の育児休暇取得については、「（どちらかといえば）賛成」と回答した方が８割を超えた。賛成の理由としては、「母親と父親で協力して育児に取り組むべき」「育児負担の軽減」という意見が多く聞かれた。その一方で賛成はするが現状では難しいという意見も見られ、「取得できる（しやすい）環境が整っていない」「収入に対する不安」等の意見も多かった。

**○家庭・結婚観について ≪問１２、１３≫**

　この章では、家庭生活での役割や結婚観などについて調査をしました。

・食事、掃除、洗濯、子育てなど８項目中７項目で「いつもやる」と答えた方が最も多かった。「いつもやる」と答えた方の多かった７項目全てで、その８割が女性であった。

　・家庭観・結婚観について、「結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい」という問いに対し、「（どちらかといえば）そう思う」と答えた方が約６５％と半数以上を数えた。「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」「女性は結婚したら自分のことより、夫や子どもを中心に考えて生活した方がよい」という問いに対しては、否定的な意見が７割を超えており、従来の夫婦間の立場や役割が変化してきていることが感じられた。

**○子育て・教育について ≪問１４、１５≫**

　この章では、子育てや子どもの教育について調査しました。

・子どもの教育については、大学まで教育を受けさせるべきという意見が男女共に最も多かった。全国でも大学進学率は５割を超えて推移しており、本町でも男女に関係なく、大学教育を受けるべきという意見が多かった。

・子育てにおける父親と母親の役割については、「まったく同じである」「あまり違いはない」との回答が約３割、「どちらかといえば違う」「まったく違う」との回答が約６割と意見が分かれ、父親と母親の役割はそれぞれ違うという意見が半数以上であった。

**○介護について ≪問１６、１７≫**

　家族または自分の介護について調査をしました。

・介護サービスの利用や施設への入所を希望する意見が、家族または自分の場合のそれぞれで約８割を占めた。

**○ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）について ≪問１８、１９≫**

　この章では、ドメスティック・バイオレンス（DV、夫婦・恋人間の暴力暴言）について調査しました。

・一度でもＤＶを受けたことがあると答えた方が約１５％おり、そのうち８割が女性であった。

・一度でもＤＶを受けたことがあると答えた方のうち、約６割の方が「どこ（誰）にも相談しなかった・できなかった」と答え、理由として「自分が我慢すれば、なんとかやっていけると思った」「自分にも悪いところがあると思った」「相談するほどのことではないと思った」との意見が多かった。

・DV対策としては「相談機関の増設・連携体制の強化」「警察などによる加害者に対する厳格な対応」が合わせて全体の３割を占める結果となった。

**○男女共同参画社会の形成について ≪問２０、２１≫**

　この章では、男女共同参画社会を実現するために町に望む施策などについて調査しました。

・17.7%「職場における男女格差の是正や、働き方の見直しなどの啓発」

15.2%「保育サービスや学童保育などの子育て支援の充実」

13.9%「学校における男女平等等教育の推進」

以上の３項目での回答が多く、労働環境における見直しと、子育てに関連する育児休業や子育て支援サービスの充実が望まれている。

**２．アンケート結果（質問別）**

※問２以降の最多数の項目については　　で表示してあります。

**◆回答者自身のことについて◆**

問１

①性別

男性　　　６６名

女性　　１０３名

無回答　　　５名

（計１７４名）

②年齢

１９歳以下　　１１名

　　２０代　　　　２２名

　　３０代　　　　２７名

　　４０代　　　　４３名

　　５０代　　　　５１名

　　６０歳以上　　２１名

（計１７４名）

③お住いの地区…

　　野沢地区　　59名

　　尾野本地区　43名

　　群岡地区　　20名

　　新郷地区　　14名

　　奥川地区　　11名

　　その他　　　24名

　　無回答　　　 3名

　　　　　（計１７４名）

④職業

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．農林業（自営・家事従事者） | 5 | 2.9% |
| ２．商工・サービス業（自営・家事従事者） | 5 | 2.9% |
| ３．自由業（開業医、弁護士、税理士など） | 2 | 1.1% |
| ４．勤め人（正社員・正職員） | 105 | 60.3% |
| ５．勤め人（派遣・契約・臨時・パート・アルバイト） | 30 | 17.2% |
| ６．内職・在宅就業 | 1 | 0.6% |
| ７．専業主婦・主夫 | 4 | 2.3% |
| ８．学生 | 12 | 6.9% |
| ９．無職 | 8 | 4.6% |
| 10．その他 | 1 | 0.6% |
| 無回答 | 1 | 0.6% |

（ ④－１勤め先 ）

　町　内…121名、80.7%　　町　外…26名、17.3%　　無回答…3名、2%

⑤配偶者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．配偶者がいる（事実婚を含む） | 103 | 59.3% |
| ２．配偶者はいない（離別・死別を含む） | 70 | 40.2% |
| 無回答 | 1 | 0.5% |

（ ⑤－１就労状況 ）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．夫婦ともに働いている | 82 | 78.8% |
| ２．夫のみ働いている | 14 | 13.5% |
| ３．妻のみ働いている | 5 | 4.8% |
| ４．夫婦ともに働いていない | 2 | 1.9% |
| 無回答 | 1 | 1% |

⑥子の有無

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．子どもがいる | 110 | 63.2% |
| ２．子どもはいない | 56 | 32.2% |
| 無回答 | 8 | 4.6% |

⑦家族構成

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．一人暮らし | 17 | 9.8% |
| ２．夫婦のみ世帯 | 20 | 11.5% |
| ３．親と子の世帯 | 76 | 43.7% |
| ４．親と子と孫の世帯 | 34 | 19.5% |
| ５．その他 | 25 | 14.4% |
| 無回答 | 2 | 0.5% |

**◆男女共同参画のことについて◆**

問２　「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった、性別によって男女の役割を

　　固定する考え方がありますが、あなたはその考え方についてどう思われますか。**次の中**

**からあてはまるもの１つを選んでください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．同感できない | 77 | 44.3% |
| ２．どちらかといえば同感できない | 49 | 28.2% |
| ３．どちらかといえば同感できる | 25 | 14.4% |
| ４．同感できる | 0 | 0% |
| ５．わからない | 20 | 11.5% |
| 無回答 | 3 | 1.7% |

問３　あなたは、家庭や職場、学校など活動する場で男女の地位は平等になっていると思い

ますか。**あてはまるものをそれぞれ１つ選んでください。**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 女性の方が優遇されている | どちらかといえば女性の方が優遇されている | 平等になっている | どちらかといえば男性の方が優遇されている | 男性の方が優遇されている | わからない | 無回答 |
| ①　家庭生活 | 回答数 | 6 | 17 | 47 | 53 | 31 | 14 | 6 |
| 割合 | 3.4% | 9.8% | 27% | 30.5% | 17.8% | 8% | 3.4% |
| ②　職場 | 回答数 | 1 | 3 | 47 | 56 | 37 | 22 | 8 |
| 割合 | 0.6% | 1.7% | 27% | 32.2% | 21.3% | 12.6% | 4.6% |
| ③　学校教育 | 回答数 | 1 | 3 | 101 | 8 | 6 | 47 | 8 |
| 割合 | 0.6% | 1.7% | 58% | 4.6% | 3.4% | 27% | 4.6% |
| ④　自治会や地域活動 | 回答数 | 3 | 16 | 45 | 52 | 26 | 24 | 8 |
| 割合 | 1.7% | 9.2% | 25.9% | 29.9% | 14.9% | 13.8% | 4.6% |
| ⑤　慣習・しきたり | 回答数 | 2 | 4 | 20 | 70 | 41 | 28 | 9 |
| 割合 | 1.1% | 2.3% | 11.5% | 40.2% | 23.6% | 16.1% | 5.2% |
| ⑥　政治 | 回答数 | 1 | 1 | 16 | 74 | 53 | 22 | 7 |
| 割合 | 0.6% | 0.6% | 9.2% | 42.5% | 30.5% | 12.6% | 4% |
| ⑦　法律や制度 | 回答数 | 3 | 6 | 45 | 54 | 20 | 39 | 7 |
| 割合 | 1.7% | 3.4% | 25.9% | 31% | 11.5% | 22.4% | 4% |
| ⑧　社会全体 | 回答数 | 2 | 9 | 13 | 94 | 28 | 21 | 7 |
| 割合 | 1.1% | 5.2% | 7.5% | 54% | 16.1% | 12.1% | 4% |

問４　女性及び男性の生き方として、あなたが望ましいと思うのはどのような生き方でしょ

うか。**女性の生き方、男性の生き方両方についてそれぞれ１つを選んでください。**

**【女性の生き方について】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する | 3 | 1.7% |
| ２．家庭生活または地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる | 16 | 9.2% |
| ３．家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる | 94 | 54% |
| ４．仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる | 37 | 21.3% |
| ５．仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する | 4 | 2.3% |
| ６．その他 | 7 | 4% |
| ７．わからない | 9 | 5.2% |
| 無回答 | 4 | 2.3% |

**【男性の生き方について】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する | 7 | 4% |
| ２．家庭生活または地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる | 43 | 24.7% |
| ３．家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる | 94 | 54% |
| ４．仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる | 12 | 6.9% |
| ５．仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する | 1 | 0.6% |
| ６．その他 | 6 | 3.4% |
| ７．わからない | 9 | 5.2% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |

その他記述（一部抜粋）

・ひとりひとりの考えが違うため、生き方もそれぞれである。

・仕事が大事な人もいれば、家庭が大事な人もいるので、選択できれば良い。

・何事もほどほどに活動する。専念・優先・両立ではなく、バランスよく生きる。

問５　今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と思うことは

　　何ですか。**次の中からあてはまるもの１つを選んでください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．法律や制度の上での見直しを行い、女性差別につながるものを改めること | 11 | 6.3% |
| ２．女性・男性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること | 82 | 47.1% |
| ３．女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること | 30 | 17.2% |
| ４．女性の就業、社会参画を支援する施設やサービスの充実を図ること | 17 | 9.8% |
| ５．政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を充実すること | 13 | 7.5% |
| ６．その他 | 4 | 2.3% |
| ７．わからない | 13 | 7.5% |
| 無回答 | 4 | 2.3% |

その他記述（一部抜粋）

・男性、女性の生物としての違いを理解する。

・全てを平等にする必要はないのでは…

問６　今後、女性と男性がともに仕事、家庭、育児、介護、地域活動等に積極的に参加して

　　いくためには、どのようなことが必要だと思いますか。**あてはまるものを３つまで選ん**

**でください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること | 62 | 13% |
| ２．学校教育や生涯学習の場において、男女共同参画についての学習を充実させること | 29 | 6.1% |
| ３．男女ともに、家事などができるようなしつけや育て方をすること | 59 | 12.3% |
| ４．男性が生活面において自立できるような能力を身に付けること | 33 | 6.9% |
| ５．女性自身が経済的に自立し、社会責任を果たせるような能力を身に付けること | 27 | 5.6% |
| ６．行政や民間、地域社会などにおける政策・方針決定の場に女性を積極的に登用すること | 24 | 5% |
| ７．雇用機会や昇進など、職場における男女の対等な取り扱いを周知徹底すること | 43 | 9% |
| ８．労働時間の短縮や、男女ともに取得のしやすい育児、介護、ボランティア等の休暇・休業制度を普及させること | 73 | 15.3% |
| ９．年功序列、終身雇用等の従来の雇用制度を見直し、再雇用や中途採用枠の拡大など柔軟な制度を普及させること | 35 | 7.3% |
| 10．パートタイマー、派遣労働者等の労働条件を向上させること | 25 | 5.2% |
| 11．官民ともに、育児・介護にかかる施設や、家事・育児・介護にかかるサービス等を充実させること | 59 | 12.3% |
| 12．その他 | 2 | 0.4% |
| 13．わからない | 7 | 1.5% |

その他記述（一部抜粋）

・共通意識を高めるための勉強の場や現場の訪問など、見聞きして学ぶ取り組みが

あればいい。

**◆女性の活躍促進についてお聞きします◆**

問７　あなた自身や、身近にいる女性は仕事や地域活動で活躍していると思いますか。

**次の中からあてはまるもの１つを選んでください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．活躍している | 34 | 19.5% |
| ２．どちらかといえば活躍している | 86 | 49.4% |
| ３．どちらかといえば活躍していない | 44 | 25.3% |
| ４．活躍していない | 7 | 4% |
| 無回答 | 3 | 1.7% |

**【問７で１または２を選んだ方】**

７－１　活躍していると思う理由は何ですか。**あてはまるものを３つまで選んでください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．産休・育休などの支援制度が充実し、女性社員の退職が減っている | 30 | 10.9% |
| ２．女性の経営者や管理職が増えている | 32 | 11.6% |
| ３．管理職ではないが活躍する女性が増えている | 67 | 24.3% |
| ４．女性の職域（事務以外の研究開発、営業等）が広がっている | 32 | 11.6% |
| ５．各種報道などで女性の活躍を目にする機会が増えた | 39 | 14.1% |
| ６．女性のキャリア意識（仕事で経験を積もうとする意識）が上がっている | 46 | 16.7% |
| ７．長時間労働の慣習が改善されてきている | 9 | 3.3% |
| ８．ＰＴＡや自治会長等の役職についている女性が増えている | 16 | 5.8% |
| ９．その他 | 5 | 1.8% |

その他記述（一部抜粋）

・地方では女性の就職率が高いと感じた。逆に首都圏では専業主婦が多いと思った。

**【問７で３または４を選んだ方】**

７－２　活躍していないと思う理由は何ですか。**あてはまるものを３つまで選んでください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．産休・育休などの支援制度が不十分である | 5 | 4.2% |
| ２．産休・育休などの支援制度があっても使用しにくい（できない） | 10 | 8.5% |
| ３．女性の経営者や管理者が少ない | 18 | 15.3% |
| ４．女性の職域（事務以外の研究開発、営業等）が限定的である | 6 | 5.1% |
| ５．女性のキャリア意識（仕事で経験を積もうとする意識）が向上していない | 20 | 16.9% |
| ６．出産・育児などのため、男性に比べキャリア形成が難しい | 21 | 17.8% |
| ７．男性優位の考え方が変わっていない | 25 | 21.2% |
| ８．長時間労働の慣習が改善されていない | 6 | 5.1% |
| ９．ＰＴＡや自治会長等の役職についている女性がいない | 3 | 2.5% |
| 10．その他 | 4 | 3.4% |

その他記述（一部抜粋）

・向上の意識があって意見をしても相手にしてもらえず、向上心が失われてしまい、活躍

したい意識も薄れてしまう。

・そもそも活躍することを望んでいない女性が多い。

**◆就労・職業についてお聞きします◆**

問８　現在の生活であなたの希望に近いものはどれですか。また、実際の生活はどうですか。

**あてはまるものをそれぞれ１つ選んでください。**

※「地域や個人の生活」…ボランティア活動、学習、趣味など

**【希望する生活】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．「仕事」を優先したい | 11 | 6.3% |
| ２．「家庭生活」を優先したい | 11 | 6.3% |
| ３．「地域や個人の生活」を優先したい | 11 | 6.3% |
| ４．「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい | 61 | 35.1% |
| ５．「仕事」と「地域や個人の生活」をともに優先したい | 17 | 9.8% |
| ６．「家庭生活」と「地域や個人の生活」をともに優先したい | 14 | 8% |
| ７．「仕事」と「家庭生活」と「地域や個人の生活」をともに優先したい | 39 | 22.4% |
| ８．わからない | 5 | 2.9% |
| 無回答 | 5 | 2.9% |

**【実際の生活】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．「仕事」を優先している | 67 | 38.5% |
| ２．「家庭生活」を優先している | 17 | 9.8% |
| ３．「地域や個人の生活」を優先している | 0 | 0% |
| ４．「仕事」と「家庭生活」をともに優先している | 44 | 25.3% |
| ５．「仕事」と「地域や個人の生活」をともに優先している | 7 | 4% |
| ６．「家庭生活」と「地域や個人の生活」をともに優先している | 3 | 1.7% |
| ７．「仕事」と「家庭生活」と「地域や個人の生活」をともに優先している | 13 | 7.5% |
| ８．わからない | 14 | 8% |
| 無回答 | 9 | 5.2% |

問９　あなたは、一般的に女性が職業を持つことについて、どう考えますか。**次の中から**

**あてはまるものを１つ選んでください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．女性は職業を持たない方がよい | 0 | 0% |
| ２．結婚するまでは職業を持つ方がよい | 2 | 1.1% |
| ３．子どもができるまでは、職業を持つ方がよい | 3 | 1.7% |
| ４．子どもができても、ずっと職業を続ける方がよい | 110 | 63.2% |
| ５．子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい | 29 | 16.7% |
| ６．その他 | 9 | 5.2% |
| ７．わからない | 14 | 8% |
| 無回答 | 7 | 4% |

その他記述（一部抜粋）

・人を育てるには母親の力は一番有効な物である。

・結婚、出産の可否や有無を問わず、自ら生活の糧を創り出す技術や考えを持ち、自由に

選択するのがよい。

・各家庭の経済状況があるので、それに応じた就労でよいのでは…

・職業を充分やったと思ったら、次は家庭生活や個人の生活を充実させたい。

問１０　あなたは、働く意欲のある女性が働き続けたり、再就職したりするために、どのよう

　　なことが必要だと思いますか。**あてはまるものをすべて選んでください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．昇進・昇給・仕事内容などの職場での男女平等取扱いの確保 | 67 | 9.1% |
| ２．労働時間の短縮（短時間勤務、在宅勤務やフレックスタイム（時差勤務）も含む） | 72 | 9.8% |
| ３．家族や配偶者の理解や同意 | 101 | 13.8% |
| ４．家族や配偶者の家事・子育て・介護への参加、協力 | 107 | 14.6% |
| ５．保育施設や介護施設ならびにそれらに付随するサービスの充実 | 85 | 11.6% |
| ６．女性自身の意欲・能力を高めること | 45 | 6.1% |
| ７．女性・男性を問わず、意識（「男は仕事、女は家庭」など）を変えること | 61 | 8.3% |
| ８．結婚・出産・子育てなどによる退職後の再雇用制度の普及 | 81 | 11% |
| ９．パートタイム労働者や派遣社員などの労働条件の改善 | 59 | 8% |
| 10．地域の支援（子育て・介護ボランティアなど） | 42 | 5.7% |
| 11．その他 | 3 | 0.4% |
| 12．わからない | 6 | 0.8% |
| 無回答 | 5 | 0.7% |

その他記述（一部抜粋）

・社会全体の意識を変えること。

・採用する側が性別を問わないこと、制度にも性別を適用しないこと。

問１１　あなたは、男性の育児休暇取得についてどう思いますか。**１つ選び、その理由も答え**

**てください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．賛成 | 90 | 51.7% |
| ２．どちらかといえば賛成 | 54 | 31% |
| ３．どちらかといえば反対 | 15 | 8.6% |
| ４．反対 | 5 | 2.9% |
| 無回答 | 10 | 5.7% |

【賛成の理由（どちらかといえば賛成も含む）】

・男性の育休取得が女性の育児における負担を軽減すると考えるから。

・男性も育休を取得した方が子育てへの時間も取れ、子育てへの理解が深まる。

・女性が子育てをするという考えは古いし、今は、子どもを産んでも仕事をしたいという

女性も増えているから。

・北欧などでできているのなら、環境が整えば実現可能なのでは…

・育休を取得する男性が増えていくことで見方や意識が変わり、社会が変わっていくはず。

・育児や家事の大変さが理解してもらえるし、その男性が上司になった時に、育休を必要

　とする部下の気持ちが分かるようになると思うから。

・子育ては夫婦で行うもの、夫婦の責任である。

・女性も男性も休暇が取得できる環境にあれば、一方が長期で休むことがなくなる。

・それぞれの家庭で考えられる選択肢が増えることは良いことだと思う。

【反対の理由（どちらかといえば反対も含む）】

・男性には仕事を優先してほしい、経済的に厳しくなってしまう。

・男性の方が給料面で優遇されているため。

・家庭内での役割分担をある程度は明確にしておいた方が良い。

・まだ男性の方が社会において重要なポストにあるため。

・育休を取得しても、女性の負担が変わらない、もしくは増えるようであれば取得する意味

　はない。

・復職後の対応について不安があるため。

**◆家庭・結婚観についてお聞きします◆**

問１２　あなたは家庭で、次のことについてどの程度行っていますか。**あてはまるものを**

**それぞれ１つ選んでください。**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | いつもやる | 分担してやる | 時々やる | 全くやらない | わからない | 無回答 |
| ①　食事の支度 | 回答数 | 77 | 20 | 51 | 17 | 2 | 7 |
| 割合 | 44.3% | 11.5% | 29.3% | 9.8% | 1.1% | 4% |
| ②　食事の後片付け、食器  洗い | 回答数 | 86 | 28 | 48 | 5 | 2 | 5 |
| 割合 | 49.4% | 16.1% | 27.6% | 2.9% | 1.1% | 2.9% |
| ③　掃除 | 回答数 | 71 | 31 | 54 | 8 | 3 | 7 |
| 割合 | 40.8% | 17.8% | 31% | 4.6% | 1.7% | 4% |
| ④　洗濯 | 回答数 | 85 | 26 | 32 | 22 | 2 | 7 |
| 割合 | 48.9% | 14.9% | 18.4% | 12.6% | 1.1% | 4% |
| ⑤　日常の買い物 | 回答数 | 70 | 37 | 47 | 10 | 2 | 8 |
| 割合 | 40.2% | 21.3% | 27% | 5.7% | 1.1% | 4.6% |
| ⑥　子どもの世話や教育 | 回答数 | 50 | 32 | 15 | 16 | 32 | 29 |
| 割合 | 28.7% | 18.4% | 8.6% | 9.2% | 18.4% | 16.7% |
| ⑦　家族の介護や世話 | 回答数 | 41 | 26 | 33 | 24 | 31 | 19 |
| 割合 | 23.6% | 14.9% | 19% | 13.8% | 17.8% | 10.9% |
| ⑧　自治会などの地域活動  への参加 | 回答数 | 26 | 38 | 63 | 30 | 8 | 9 |
| 割合 | 14.9% | 21.8% | 36.2% | 17.2% | 4.6% | 5.2% |

※「いつもやる」と回答された方のうち、女性の回答数・割合

　①68/77、88.3%　　②71/86、82.5%　　③58/71、81.6%　　④70/85、82.3%

　⑤60/70、85.7%　　⑥45/50、90%　　　⑦36/41、87.8%　　⑧7/26、26.9%

問１３　家庭・結婚観について、**あなたの考えに近いものをそれぞれ１つ選んでください。**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない | わからない | 無回答 |
| ①結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい | 回答数 | 66 | 47 | 19 | 27 | 9 | 6 |
| 割合 | 37.9% | 27% | 10.9% | 15.5% | 5.2% | 3.4% |
| ②夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである | 回答数 | 3 | 16 | 30 | 108 | 10 | 7 |
| 割合 | 1.7% | 9.2% | 17.2% | 62.1% | 5.7% | 4% |
| ③女性は結婚したら自分のことより、夫や子どもを中心に考えて生活した方がよい | 回答数 | 2 | 27 | 35 | 92 | 10 | 8 |
| 割合 | 1.1% | 15.5% | 20.1% | 52.9% | 5.7% | 4.6% |
| ④結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない | 回答数 | 44 | 25 | 31 | 42 | 25 | 7 |
| 割合 | 25.3% | 14.4% | 17.8% | 24.1% | 14.4% | 4% |
| ⑤結婚しても相手に満足できない時は離婚してもよい | 回答数 | 42 | 49 | 31 | 27 | 18 | 7 |
| 割合 | 24.1% | 28.2% | 17.8% | 15.5% | 10.3% | 4% |
| ⑥一般的に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である | 回答数 | 26 | 51 | 19 | 40 | 31 | 7 |
| 割合 | 14.9% | 29.3% | 10.9% | 23% | 17.8% | 4% |

**◆子育て・教育についてお聞きします◆**

問１４　あなたは子どもにどの程度の教育を受けさせたいと思いますか。お子さんがいな

　　い方、お子さんがすでに学校を終えられた方も、ご自分に女の子と男の子がいると

　　仮定して、**あてはまるものをそれぞれ１つ選んでください。**

**【女の子の場合】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．中学校 | 0 | 0% |
| ２．高等学校 | 17 | 9.8% |
| ３．各種専門学校・専修学校 | 42 | 24.1% |
| ４．短期大学 | 11 | 6.3% |
| ５．大学 | 81 | 46.6% |
| ６．大学院 | 2 | 1.1% |
| ７．その他 | 8 | 4.6% |
| ８．わからない | 8 | 4.6% |
| 無回答 | 5 | 2.9% |

**【男の子の場合】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．中学校 | 0 | 0% |
| ２．高等学校 | 15 | 8.6% |
| ３．各種専門学校・専修学校 | 27 | 15.5% |
| ４．短期大学 | 3 | 1.7% |
| ５．大学 | 106 | 60.9% |
| ６．大学院 | 3 | 1.7% |
| ７．その他 | 8 | 4.6% |
| ８．わからない | 7 | 4% |
| 無回答 | 5 | 2.9% |

その他記述…本人の希望する教育を受けさせたい。

問１５　あなたは子育てにおいて、父親と母親の役割は同じであると思いますか。**次の中**

**からあてはまるもの１つを選んでください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．まったく同じである | 15 | 8.6% |
| ２．あまり違いはない | 48 | 27.6% |
| ３．どちらかといえば違う | 76 | 43.7% |
| ４．まったく違う | 24 | 13.8% |
| ５．その他 | 0 | 0% |
| ６．わからない | 6 | 3.4% |
| 無回答 | 5 | 2.9% |

**◆介護についてお聞きします◆**

問１６　あなたの家族が介護を要する状態になった（すでに介護を要する人がいる）場合、

または、あなた自身が介護が必要になった場合、どのようにしたいと考えています

か。**あてはまるものをそれぞれ１つ選んでください。**

**【家族が介護を要する場合】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．行政や外部のサービスには頼らず、自分で介護したい（している） | 3 | 1.7% |
| ２．ホームヘルパー等の在宅福祉サービスを使用しながら、主に自宅で介護したい（している） | 80 | 46% |
| ３．特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けさせたい（受けさせている） | 67 | 38.5% |
| ４．その他 | 3 | 1.7% |
| ５．わからない | 19 | 10.9% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |

**【自分が介護を要する場合】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．行政や外部のサービスには頼らず、自分で介護してもらいたい | 3 | 1.7% |
| ２．ホームヘルパー等の在宅福祉サービスを使用し、主に自宅で介護してもらいたい | 61 | 35.1% |
| ３．特別養護老人ホーム等の施設で介護をしてもらいたい | 78 | 44.8% |
| ４．その他 | 3 | 1.7% |
| ５．わからない | 27 | 15.5% |
| 無回答 | 2 | 1.1% |

問１７　家族を自宅で介護する場合、主に誰が介護をすることになると思いますか。また、

　　あなた自身が自宅で介護される場合、誰に介護してもらいたいですか。**あてはまる**

**ものをそれぞれ１つ選んでください。**

**【家族を介護する場合】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．主に自分 | 91 | 52.3% |
| ２．主に自分の配偶者 | 19 | 10.9% |
| ３．主にその他の家族（女性） | 19 | 10.9% |
| ４．主にその他の家族（男性） | 4 | 2.3% |
| ５．その他 | 2 | 1.1% |
| ６．わからない | 35 | 20.1% |
| 無回答 | 4 | 2.3% |

**【自分が介護される場合】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．配偶者 | 50 | 28.7% |
| ２．息子 | 1 | 0.6% |
| ３．娘 | 12 | 6.9% |
| ４．息子の妻 | 0 | 0% |
| ５．娘の夫 | 0 | 0% |
| ６．その他の家族（女性） | 0 | 0% |
| ７．その他の家族（男性） | 0 | 0% |
| ８．ホームヘルパー等 | 42 | 24.1% |
| ９．わからない | 63 | 36.2% |
| 無回答 | 6 | 3.4% |

**◆ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）についてお聞きします◆**

問１８　あなたは、これまでに、配偶者や恋人などのパートナーから、次にあげるような

ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）を受けたことがありますか。**あてはまるも**

**のをそれぞれ１つ選んでください。**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 何度も受けた | 一、二度受けた | 受けたことはない | 無回答 |
| ①殴る、蹴るなどの身体的暴力 | 回答数 | 3 | 13 | 152 | 6 |
| 割合 | 1.7% | 7.5% | 87.4% | 3.4% |
| ②大声で怒鳴るなど、精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫 | 回答数 | 9 | 15 | 144 | 6 |
| 割合 | 5.2% | 8.6% | 82.8% | 3.4% |
| ③束縛や交友関係の厳しい監視 | 回答数 | 9 | 4 | 155 | 6 |
| 割合 | 5.2% | 2.3% | 89.1% | 3.4% |
| ④性的な行為の強要 | 回答数 | 2 | 6 | 160 | 6 |
| 割合 | 1.1% | 3.4% | 92% | 3.4% |
| ⑤生活費を渡さないなどの経済的暴力 | 回答数 | 3 | 4 | 159 | 8 |
| 割合 | 1.7% | 2.3% | 91.4% | 4.6 |
| ⑥子どもに暴力を見せるなど子どもを巻き込んだ暴力 | 回答数 | 2 | 6 | 159 | 7 |
| 割合 | 1.1% | 3.4% | 91.4% | 4% |

**【問１８の①～⑥のうち、１つでも１または２を選んだ方】**

１８－１　あなたは、これまでに、配偶者や恋人などのパートナーから受けた暴力について、

誰かに打ち明けたり、相談したことがありますか。**あてはまるものをすべて選んで**

**ください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．警察に相談・通報した | 1 | 2.2% |
| ２．家族や親戚に相談した | 8 | 17.8% |
| ３．友人・知人に相談した | 8 | 17.8% |
| ４．公的機関（役場など）に相談した | 0 | 0% |
| ５．民間の専門家・機関（弁護士会など）に相談した | 2 | 4.4% |
| ６．医師・カウンセラーに相談した | 2 | 4.4% |
| ７．その他 | 1 | 2.2% |
| ８．どこ（誰）にも相談しなかった・できなかった | 16 | 35.6% |
| 無回答 | 7 | 15.6% |

**【１８－１で８を選んだ方】**

１８－２　あなたが、どこ（誰）にも相談しなかった・できなかった理由はなんですか。

**あてはまるものをすべて選んでください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．どこ（誰）に相談してよいか分からなかった | 2 | 4.8% |
| ２．恥ずかしくて誰にも言えなかった | 3 | 7.1% |
| ３．相談しても無駄だと思った | 3 | 7.1% |
| ４．相談が知られると、仕返しをされたり、もっとひどい暴力を受けると思った | 2 | 4.8% |
| ５．不快な思いをすると思った | 0 | 0% |
| ６．自分が我慢すれば、なんとかやっていけると思った | 8 | 19% |
| ７．世間体が悪い | 1 | 2.4% |
| ８．他人を巻き込みたくない | 2 | 4.8% |
| ９．そのことについて思い出したくなかった | 0 | 0% |
| 10．自分にも悪いところがあると思った | 7 | 16.7% |
| 11．相談するほどのことではないと思った | 7 | 16.7% |
| 12．その他 | 0 | 0% |
| 無回答 | 7 | 16.7% |

問１９　ドメスティック・バイオレンス（ＤＶ）を根絶するための対策や援助として、

特にどのようなことが必要だと思いますか。**あてはまるものを３つまで選んで**

**ください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．相談機関の増設・連携体制の強化 | 73 | 15.8% |
| ２．緊急時に安全に過ごせる避難場所（シェルター）の増設 | 49 | 10.6% |
| ３．安定した生活を確保できるまでの安全に暮らせる住宅 | 56 | 12.1% |
| ４．緊急時の生活費の援助制度の充実 | 41 | 8.9% |
| ５．警察などによる加害者に対する厳格な対応 | 72 | 15.6% |
| ６．加害者に対しての更生教育 | 28 | 6.1% |
| ７．小中高などにおける予防教育 | 38 | 8.2% |
| ８．相談機関の周知徹底 | 33 | 7.1% |
| ９．配偶者などからの暴力に関する法律（「ＤＶ防止法」：配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）の周知ＰＲ | 16 | 3.5% |
| 10．「配偶者などからの暴力は犯罪である」という意識づくりのための啓発活動 | 28 | 6.1% |
| 11．その他 | 4 | 0.9% |
| 12．わからない | 9 | 1.9% |
| 無回答 | 15 | 3.2% |

その他記述（一部抜粋）

・女性からの暴力に対する男性の対応を啓発してほしい。

**◆男女共同参画社会の形成についてお聞きします◆**

問２０　「男女共同参画社会」を実現するために、西会津町の施策に望むことは何ですか。

**あてはまるものを３つまで選んでください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 回答数 | 割合 |
| １．情報誌や講演会などによる男女の平等と相互理解についての啓発 | 32 | 7.2% |
| ２．学校における男女平等教育の推進 | 62 | 13.9% |
| ３．社会教育・生涯学習の場での学習の充実 | 28 | 6.3% |
| ４．職場における男女格差の是正や、働き方の見直しなどの啓発 | 79 | 17.7% |
| ５．保育サービスや学童保育などの子育て支援の充実 | 68 | 15.2% |
| ６．介護サービスの充実 | 51 | 11.4% |
| ７．地域コミュニティ活動における男女共同参画の推進 | 30 | 6.7% |
| ８．町の審議会等の委員への女性の登用 | 22 | 4.9% |
| ９．女性の就労支援の充実 | 45 | 10.1% |
| 10．男女共同参画を推進する団体等の支援や活動拠点の整備 | 11 | 2.5% |
| 11．その他 | 6 | 1.3% |
| 無回答 | 13 | 2.9% |

その他記述（一部抜粋）

・経営者や管理職者を対象とした講演会

・会議等に参加しやすい仕組みづくり（子連れＯＫとか）。

・お年寄りが多いので、分かりやすい言葉で啓発をしないと何も変わらないのでは…

問２１　あなたは次にあげる各々の言葉についてご存知ですか。**①～⑧の項目について、**

**あてはまるものをそれぞれ１つ選んでください。**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | よく知っている | 名前を見聞きしたことがある程度 | 知らなかった | 無回答 |
| ①男女共同参画社会 | 回答数 | 29 | 84 | 51 | 10 |
| 割合 | 16.7% | 48.3% | 29.3% | 5.7% |
| ②男女共同参画社会基本法 | 回答数 | 13 | 84 | 67 | 10 |
| 割合 | 7.5% | 48.3% | 38.5% | 5.7% |
| ③男女雇用機会均等法 | 回答数 | 40 | 92 | 32 | 10 |
| 割合 | 23% | 52.9% | 18.4% | 5.7% |
| ④女性活躍推進法 | 回答数 | 14 | 80 | 70 | 10 |
| 割合 | 8% | 46% | 40.2% | 5.7% |
| ⑤育児・介護休業法 | 回答数 | 40 | 91 | 33 | 10 |
| 割合 | 23% | 52.3% | 19% | 5.7% |
| ⑥ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置） | 回答数 | 4 | 39 | 121 | 10 |
| 割合 | 2.3% | 22.4% | 69.5% | 5.7% |
| ⑦リプロダクティブ・ヘルス／ライツ | 回答数 | 3 | 28 | 133 | 10 |
| 割合 | 1.7% | 16.1% | 76.4% | 5.7% |
| ⑧ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） | 回答数 | 29 | 59 | 76 | 10 |
| 割合 | 16.7% | 33.9% | 43.7% | 5.7% |

**◆ご意見・ご要望◆**

　あなたが日ごろ男女平等や男女共同参画について感じていることや、ご意見・ご要望が

ありましたら、ご記入ください。

・男女共同参画社会という内容を知って、実際こうできたらストレス社会にならないだろうなあと思います。職場に対しては、男女の平等だけでなく、人との対応の仕方、いろいろな面で平等でない事が気になっています。その事で女性がやる気を失くしていたり、差し支えないような仕事をしているように思えてなりません。男女共同参画計画をどのように進めていくのか楽しみです。

・男性女性それぞれの特性を生かして、おさえつける事なく、のびやかに生活していければ幸せです。

・世の中全ての事に対して男女平等をする必要はない。男と女で差があるのは当たり前。男は子供を産めない・女は子供を産めるなど差があるのだから、全て平等はあてはまらない。男尊女卑で言っているわけではありません。お互いにできる事をやりましょうという事です。

・育児は夫婦一緒に行うもの。女性だけが負担する必要はない。できる方がやればよい。

・西会津町の地域の中で、男女の役割に対する期待が高い様に感じる。女性が食事を準備すべき、男性が力仕事を全てすべき…など。過酷な自然環境の中山間地域で積み重ねられた知恵なのかもしれませんが、これからを生きる子供達には性別に基く役割期待に生きるだけでなく、自身の生き方を発揮する様な教育をして欲しい。

・無理に男女平等とするのが間違い。男女でスキルが違うので。

・男性にとっても女性にとっても、性にしばられない生活を送れるようになるとよい。（男だから～、女だから～）

・男女平等といっても、それぞれに役割があるので一言ではまとめられないと思う。

・男女平等と言っても一概にそれがいいとばかりも言えないと思います。男の人でも女の人以上に気配りができる人もいれば、また、女の人でも男の人以上にアイディアを出してくれる人もいます。両者の良い面をそれぞれの職場や地域で活動できれば良いのではないでしょうか！